

国際交流員ザブリーナ・リンのコラム

初聖体



子どものお祝い

日本では、赤ちゃんが生まれてから一か月くらいするとお宮参りをする習慣があります。また、子どものお祝いごととして七五三もあります。ドイツでは、子どもに関するお祝いごととしてどのような習慣があるか、皆さんご存知ですか？これからカトリック教会を例にして簡単に説明します。

ちなみに、ちょっと古いデータになりますが、ドイツ全体では、約30%がカトリック（西部・南部に多い）、約30%がプロテスタント（北部に多い）、約30%が無宗教（東部に多い）、そして残りの約10%が他の宗教という状況です。ドイツはキリスト教の社会ですので、神社やお寺はありませんし、八百万の神々が存在するという意識もないのは言うまでもありません。その代わり、キリスト教の信者は父である天なる神を信じ、神のいる教会に通うのです。

サクラメント(秘跡)

カトリック教会の場合、赤ちゃんが生まれたら一般的に教会で洗礼を行います。洗礼はキリスト教のサク

ラメント(秘跡)としてとても大事な行事です。(※秘跡とは、キリスト教において、神からの恵みを具体的に見える形で表すことです。カトリックでは、洗礼・堅信・聖体・ゆるし・病者の塗油・叙階・結婚という七つの秘跡が伝統的に認められています。) 洗礼を受けると、赤ちゃんはキリスト教の一員として迎えられると思います。意味は少し違いますが、日本でお宮参りと似ていると思います。

洗礼の次に受ける秘跡は、初めての聖体拝領になります。簡単に説明すると、洗礼を受けた子どもが9歳くらいになり、聖体を理解し、キリストを信仰できる年齢になって初めて聖体を拝領することを言います。聖体拝領とは、キリストの体を象徴するホステイエ(聖餅・パン)を食べることです。キリストの心と一体

になることです。キリストは最期の晩餐でパンを割り、「これはあなたがたのために捧げられた私の体である。わたしを記念としてこの食事を行いなさい。」と弟子たちに言いました。ミサで祝

福されたホステイエを食べることはこの記念儀式の聖餐です。

白い日曜日

初聖体の日は地方によってちがいますが、復活祭の次の日曜日に行う地方が多いみたいです。初聖体の日曜日には、よく「白い日曜日」と呼ばれています。その日は子どもたちが白い晴れ着を着て初聖体を受けます。この晴れ着も地方によって違います。が、大体男の子はお洒落なスーツ姿、女の子はお洒落な白いドレスを着ます。

初聖体のときに初めてミサ用の個人の聖書を頂き、生まれた時の口ウソクを持ち、最後に一緒に初聖体を受けた全員の家族と一緒にお祝いパーティーをします。初聖体という特別な日には、子どもたちは家族からたくさんプレゼントや近所の方からお祝いのカードなどをもらいます。カトリック教会ではとても大事な行事です。日本の七五三と少ししている気がします。



国際交流員Zabrina Linの「らっびーん」箱 第12回

ドイツが知りたい!

ドイツの民族衣装(大人用)の試着ができます!

ドイツには民族衣装があるのでしようか?または一般的にドイツ人はどのような服を好んでいるかなどについて発表したいと思います。最後に民族衣装を試着する時間も用意しますので、ぜひ試してみてください。ドイツの南に位置するバイエルン州のディルンドル(Diindl)と北ドイツにあるハンブルク市のフィッシュャーヘムド(Fischerhend)を持ってきますよ!なかなかできない体験だと思います!試着をできる人数は限りがありますので、ご希望の方はお申し込みをお願いしたいと思います。当日の試着は場合によっては可能ですが、お申し込みの方が優先になります。ご了承くださいませようお願いします。

カメンを忘れなごね!

■日時 5月26日(日)

午後2時30分〜4時30分程度(試着の時間次第)

※発表は2時30分〜3時の間で、後は試着時間。

■場所 国分寺公民館

■参加料 無料

■申し込み 民族衣装の試着を希望される方はお申し込みください。発表を聞くだけの場合はお申し込み不要です。

問い合わせ先

生活安全課 ☎(40)5555

✉shashimotsuke@gmail.com